

自然教育園見ごろ情報

2026年2月11日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://ins.kahaku.go.jp/>



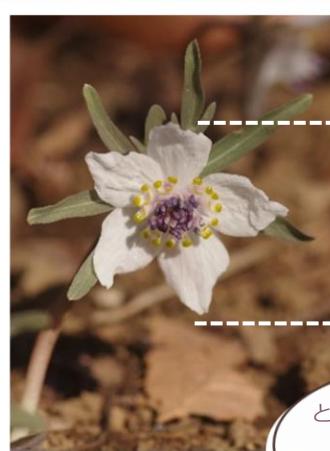
今週はここに注目！

フクジュソウが
咲いています



フクジュソウ

福寿草（ふくじゅそう）の名前は、旧暦の正月ごろに咲くため、新年を祝うめでたい花としてつけられました。春にだけ地上に顔を出す春植物のひとつで、地上部はやがて枯れてしまいます。



セツブンソウ

「節分の頃咲く」ことが名前の由来。山地の樹林に生えます。園芸目的の乱獲で激減し、環境省のレッドリストでは、「準絶滅危惧種」に指定されています。



スギナ(つくし)

つくしは、スギナの胞子茎（胞子をつけるための茎）で、春の風物詩としておなじみです。食用にもされます。小さくて見つけにくいけれど、是非探してみてください。



タチツボスミレ(葉)

春に咲くスミレのハート型の若葉が見られます。人家近くの道端から山地まで、ごくふつうに生育するスミレです。花の色は薄い青紫色をしています。



花 (3月頃)



ガサッ！と
音がした場所を
探してみよう

キジバト

日本にいる野生のハトです。地面にある落ち葉に頭を突っ込んで、餌を探す様子がよく見られます。赤褐色の羽縁が特徴で、お寺や公園で群れている灰色の「ドバト」とは異なる種類です。



フキノトウ(フキのつぼみ)

春の訪れを告げる「ふきのとう」が顔を出しました！フキの「花がつく茎（花茎）」にあたり、山菜としてもおなじみです。



★園内での動植物の採集は禁止です。大切に見守ってください。



ノシラン(実)

コバルトブルーの綺麗な実をつけています。ノシランの名前は、花茎（花だけつける茎）が平らで熨斗（のし）に似ていることからついたと言われています。



バイモ(葉)

細長い若葉が路傍植物園や武蔵野植物園のあちこちに伸びてきました。バイモは観賞用によく栽培されていて、春には白い花を咲かせます。



花 (3月頃)

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園